



社協

YOKOSHIBAHIKARI

よこしばひかい

第20号

2012.12.1 発行



ポスター
特選

日吉小学校 4年
伊橋優亜さん

第7回

福祉のまちづくり

標語・作文・ポスター入賞作品



ポスター
特選

光中学校 1年
山本茉和さん

標語 特選

光中学校 1年 稲田 涼さん



声かけで
町も気持ちも
変えられる

発行

社会福祉法人 横芝光町社会福祉協議会

〒289-1727 千葉県山武郡横芝光町宮川11902
TEL 0479-80-3611 FAX 0479-80-3651
e-mail: yh-shakyo@soleil.ocn.ne.jp
<http://www.yokoshibahikarishakyo.jp/>

入賞作品一挙に紹介！

社会福祉協議会では、「ふれあいと支え合いの精神に満ちた心豊かな福祉のまちづくり」を進めるため福祉教育の一環として、町内小・中学校児童・生徒から標語・作文・ポスターを募集したところ、総数657点の作品が寄せられました。

応募いただいた作品の中から、各部門別に特選・入選・佳作の入賞作品が決定しました。（敬称略）

作文特選

横芝小学校 5年

佐藤 慎之介



『助け合う町・横芝光』

ぼくは、今まで引つ込みがちで、目の前に困っている人がいても声をかけられませんでした。それは、はずかしかったり、周りの目が気になったりしていたからです。でも、その考えがはずかしいのだと、母親に教わりました。

ぼくの母親は、特別養護老人ホームという所で、介護の仕事をしています。朝から夜まで働いて、時には夜中に働く夜勤もあります。ぼくは、毎日大変だなあ、体は疲

れないのかなあと感じていました。ですが、仕事の内容は知りませんでした。

ある時、母親に仕事の内容を聞くと、

「お年寄りの毎日の生活をお手伝いしているのよ。」と教わりました。

「仕事、大変じゃない？」と聞くと、

「もちろん大変。体もへとへとになってしまふし、お客様だから気も使う。だけど、私は仕事が終わ

れば、体も心も休まるかもしれない。でも世の中には、家族に介護が必要な人がいて、その家族は二十四時間、三百六十五日介護におわれて休めない。何より、病気や事故で障害者になってしまった人達は、介護をしている人の何十倍も何百倍も頑張っているのよ。」と教えてくれました。

それを聞いて思い出したのが、ひいおばあちゃんの事です。ひいおばあちゃんは、病気で入院していました。その時は、親戚の人で交代しながらお見舞いに行ったり、ひいおばあちゃんも苦しい中で一生懸命に頑張っていました。しばらくして、ひいおばあちゃんが亡くなった時、ぼくは仲がよかったので、悲しくて胸が苦しくなりました。でも、その時のぼくは何も言えませんでした。

しかし、これからのぼくは、病気をして苦しんでいる人に、「頑張って、病気になんかに負けないで！」と声をかけられるようになろうと思います。さっそく母親に相談してみました。すると、

「そうだね。苦しんでいる人がいたら、応援してあげてね。あと、これからの目標は、昔のことにこ

だわらず、目の前の困っている人を手伝ってあげたらどう？」と、ぼくの考えを後押ししてくれました。

「困っている人つて車いすの人やお年寄りの人？」と聞くと、

「決めつけるのは良くないよ。障害のある人も無い人も、お年寄りも子供も、みんな一人の人間なんだから。」という答えです。

ぼくは、難しいなあと思いましたが、『まずは、笑顔で元氣よくあいさつして、恥ずかしがらずに声をかけてみる』ことならできそうです。

ぼくは、母親から教わった事を生かして、前向きに目の前にいる人に声をかけられるようになりたいです。相手に障害があっても無くても、お年寄りでも子供でも、みんな一人の人間だから、恥ずかしがらずに声をかけ、困っていたら助け合いたいです。

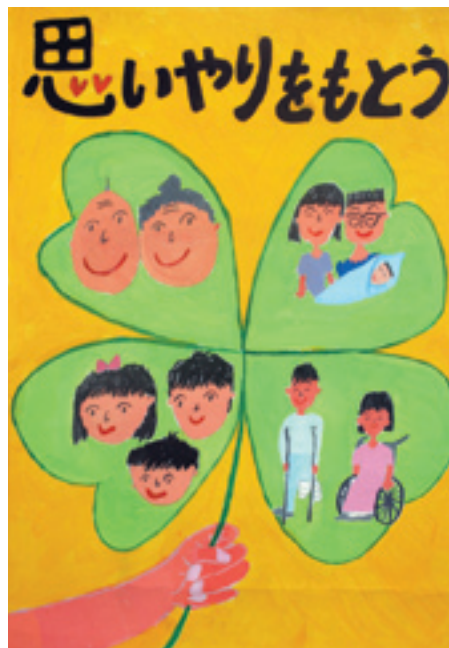
一人一人の力は小さくとも、それが積み重なって大きな力となり、みんなが笑顔で助け合う町・横芝光になることを願っています。



ポスター
入
選



東陽小学校 3年
伊 藤 憲一郎



ポスター
入
選



大総小学校 2年
土 屋 美 咲

標 語 入 選

日吉小学校 5年 土 屋 啓 太



と ど け た い
ほ っ と す る 場 と
そ の え が お

作 文
入
選

南条小学校 6年

伊 藤 祐 貴



『まちで見かける
思いやりマーク』

ぼくが住んでいる周りには、たくさん
の看板やマークがあります。その中には、
人に優しくしたり、思いやりを持って接する
ことを教えてくれるものもあります。

よく見かけるマークに、車に付いている
若葉マークや四つ葉のクローバーマークが
あります。家族で車で出かけた時に、

「何であのマークをつけるの。」

とお父さんとお母さんに聞いたら、「若葉
マークは、まだ免許を取ったばかりで、運
転に自信がない人が付けるんだよ。四つ葉
のクローバーマークは、お年寄りが付ける

マークだよ。」
と教えてくれました。そして、
「どっちのマークも、見かけたら
お互いに気をつけようとお知らせ
をするんだよ。」

と付け加えてくれました。

運転する時にも、信号や標識を
守ることの他に、付けているマー
クによって、思いやりを大切にし
て運転しなければいけないんだな
と思いました。

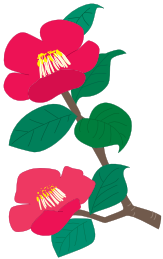
ぼくは今、車に乗せてもらうば
かりだけど、自分で車を運転でき
るようになり、こういうマークを
付けた車を見かけたら、いつもよ
り気を使って運転しようと思いま
す。

その他にも、お父さんとお母さ
んが働いている役場の駐車場には、
『思いやり駐車場』の看板が立っ
てあります。この看板は、歩く
が不自由な人や小さい子供がいる
人などが優先して車を止められる
ように、入口に近い駐車場スペー
スの所に立てられています。ぼ
くが行った時は、かなり車が混ん
でいたけど、みんなその場所をよ
けて止めていました。横芝光町に
住んでいる人は、みんなこの看板
の意味を分かっている、思いやり

を持ちマナーを守ってえらいなと
思いました。

役場の中に入ってみると、トイ
レに障害者用のマークが付いてい
たり、受付する台の上には、耳の
不自由な人に筆談でやり取りしま
すと言うマークの付いた小さな看
板が置いてありました。障害者の
人に分かりやすいように、工夫さ
れているんだなと思いました。役
場だけではなくて、コンビニやス
ーパーなど、今まで気が付かなか
ったけど、ぼくの周りには思いやり
のマークであふれているんだなと
思いました。

このマークは、みんなが意味を
理解していないと意味がないもの
になってしまいます。ぼくも、い
ろいろな場所で、どんなマークが
使われているか気にしながらその
場所や人に合った気遣いや行いが
できるようになりたいです。この
作文を書くことで、たくさんの方
とが勉強できて、とっても良かつ
たです。



ポスター
入選



横芝中学校 1年
海保 亜矢乃



ポスター
入選



横芝小学校 5年
鈴木 優花

標語 入選

横芝小学校 6年 鯉 渕 莉 生



親 切 は
し て も さ れ て も
い い 気 分



標
語
佳
作

南条小学校 5年
林 恭 平



標
語
佳
作

上堺小学校 4年
木 内 祥 奈



ポ
ス
タ
ー
入
選



作
文
佳
作

日吉小学校 5年
土 屋 啓 太



標
語
佳
作

大総小学校 5年
平 山 裕 理



横芝中学校 3年
齋 藤 あずさ



ポ
ス
タ
ー
佳
作

白浜小学校 3年
平 野 沙 英



ポ
ス
タ
ー
佳
作

東陽小学校 5年
五木田 萌



ポ
ス
タ
ー
佳
作

東陽小学校 4年
鈴 木 明日夏



ポ
ス
タ
ー
佳
作

南条小学校 3年
伊 藤 秀 真

ポスター
佳作横芝中学校 1年
赤間 野乃香ポスター
佳作上堺小学校 6年
福水 蒼ポスター
佳作上堺小学校 4年
浅野 心 渚ポスター
佳作上堺小学校 2年
本 莊 大 祐

災害時における障害のある人への支援について考えるフォーラム

千葉県では、東日本大震災発災時及び震災後の取組を通じて、障害のある人たちが、地域で安全・安心に暮らすためにはどういった支え合いや助け合いの取組が必要なのか考えることを目的に、「災害時における障害のある人への支援について考えるフォーラム」を開催します。

- 開催日時 平成24年12月16日（日） 受付：午前10時 開会：午前10時30分
 - 会場 千葉県教育会館 1F 大ホール（千葉市中央区中央4-13-10）
※JR本千葉駅から徒歩12分 京成千葉中央駅から徒歩12分
千葉都市モノレール県庁前駅から徒歩4分
 - 内容
 - ・基調講演 「あと少しの支援があれば」 福島県点字図書館館長 中村雅彦氏
 - ・被災地からの報告
 - ①岩手県 はまなす鍼灸治療院 佐藤 明氏
 - ②城県 南三陸町愛の手をつなぐ親の会 会長 千葉みよ子氏
 - ・シンポジウム 「障害のある人が地域で安全・安心に暮らしていくために」
 - 参加方法 「参加申込書」に必要事項を記載のうえメール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
 - 参加費 無料（定員350名 先着順）
 - 参加対象者
 - ①千葉県・市町村行政の地域福祉等担当者、学校、企業及び障害福祉事業関係者
 - ②市町村社会福祉協議会、地区社会福祉協議会役職員及び関係者
 - ③民生委員、児童委員、老人クラブ、ボランティア及びNPO・市民活動等活動実践者
 - ④その他、地域福祉関係者、自主防災組織、自治会及び地域福祉に興味・関心のある県民
- ※「参加申込書」はHPからダウンロードしてください。
- ◇ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/index.html>
- 問い合わせ先 千葉県健康福祉部障害福祉課企画調整班
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
TEL 043-223-2935 FAX 043-222-4133
Mail syohuk@mz.pref.chiba.lg.jp

育てよう福祉の芽

～福祉体験学習会開催～

町内小中学生36名の参加のもと、千葉県西部防災センター（松戸市）で主に地震・暴風雨・消火・煙避難の4つの体験をしました。

地震体験では、震度7の地震が再現され、地震時にどういう行動をとったらいいか、また転倒しやすい家具の固定等普段から注意しなければいけない日頃の備えの重要性について教えていただき、暴風雨体験では、風速30mの風の威力を体験し、消火体験では、大型テレビモニターに映し出される画面の火を消したり、煙避難体験では、煙の性質についての説明の他、煙の中を中腰になって安全に逃れる方法について学びました。



参加した子ども達は、この模擬体験を通して、自分自身の命を守る知恵と日頃の心構えを知ることができとても有意義な1日になったと話していました。今後も、小中学生が福祉について体験学習ができる福祉体験学習会を開催していきたいと考えています。

各地域で『ふれあいサロン』を開催してみませんか！

○ふれあいサロンとは…

高齢者・障害者・子育て中の方などが気軽に集まり、生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げたり、閉じこもりがちな生活をしている高齢者の孤独感や不安感の解消・介護予防の促進を図る活動です。

○運営主体

地域住民等により編成されたグループ

○開催回数

地域の実情に応じて弾力的に実施

○助成金

ふれあいサロンを開催するグループに対して助成金を交付します。

基準額

●月額5,000円を上限とし、予算の範囲内において会長が定める

対象経費
助成金

●サロン事業実施に必要な次に掲げる経費
●報償費・需用費
（消耗品費・食料費・印刷費）
●備品購入費・役務費・使用料及び賃借料

利用してみませんか！ふとん乾燥・丸洗いサービス

社会福祉協議会では、日常生活に支障のある方の保健衛生の向上と健康の保持増進を図るため、町から委託を受けふとん乾燥・丸洗いサービスを実施しています。

【実施内容】 ○丸洗い乾燥サービス 年1回

○乾燥サービス 月1回

【対象者】 ○65歳以上の方で、要介護3以上でほぼ寝たきり状態の方

○一人暮らしまたは高齢者世帯で、日常生活に支障のある方

○重度（1・2級）身体障害者の認定を受けていてほぼ寝たきり状態の方

※サービスを希望される方は、町福祉課 ☎（84）1257 までお問い合わせください。



地域のふれあい活動 (地区社協の巻 11)

日吉・南条・東陽・白浜地区社会福祉協議会合同開催事業

生き生きスポーツ大会

10月26日(金) 日吉小学校・日吉保育園の協力のもと232名の参加者によって開催され、和やかの中にも各地区優勝を狙う真剣さが感じられ白熱した大会となりました。



日吉小学校児童による鼓笛演奏での入場行進で開会した本大会は、日吉小学校児童と手を取り合っの競技「やったぜ母ちゃん。今夜は柳川だ!」では、タライの中のどじょうを素手で掴む競技でしたが、どじょうを触ったことのない子ども達が多かなか捕まえられず、おじいちゃん・おばあちゃんに手伝ってもらったり、途中によろよろと手から逃げ出すどじょうに悪戦苦闘している姿に笑い大きな声援が送られていました。

また、日吉保育園児によるお遊戯では、ニコニコ笑顔で「かわいいねー」といいながら園児たちに手を振る姿も見かけられました。

個人種目7種目・団体種目4種目で行われた今大会、接戦を制して優勝したのは白浜地区でした。参加された方々からは、「久しぶりに外で体を動かしました。子どもと手をつないでどじょうを捕まえたけど楽しかったわ。」とか、「私たちだけの運動会。笑って、体を動かして、大きな声で応援して。これからもこの運動会に参加できるよう元気でいます。」などと話してくださいました。きっと参加された皆さんは、童心にかえったように楽しい一時を過ごされたことだと思います。



外出支援サービス事業 運転手募集

1. ①取扱車両

・車いす又はストレッチャー利用リフト付きハイエース等

②時 給 ・ 1時間 850円

③稼 働

・月曜日～土曜日

1日3時間～7時間程度

午前8時30分～午後5時 月20日程度

2. 募集人員 ・ 若干名

3. 申込資格

・65歳までの健康な方

・第2種免許取得・運転業務経験者

4. 申込方法

・履歴書及び返信用封筒(住所・氏名を記載し80円切手を貼付)を持参

5. 受付期間

・平成25年1月15日(火)

午前9時～午後5時まで受付

※提出及び問い合わせ先 横芝光町社会福祉協議会 ☎ 80-3611 担当: 鵜ノ澤